

敬愛

敬愛(徳)

自らを見つめ、
他を思いやる中学生

【本年度】自分も友も慮ることが
できる生徒に

窮理

窮理(知)

自ら学び、
互いに高め合う中学生

【本年度】自分を磨き続けることが
できる生徒に

実践

実践(体)

自ら鍛え、
体を大切にする中学生

【本年度】思いを行動に移す勇気
をもった生徒に

重点目標1

自分を見つめ、願いを高めて
集団づくりをしようとする基盤づくり

具体的な取組

(1) 友のよさに触れ、多様性を認められ
る生徒の育成

- 違いを受け止め、
折り合いをつけられる
心の教育の充実を図る
- ・道徳教育・人権・福祉教育
- ・性教育・情報モラル教育
- ・命の授業 SOSの出し方
- ・学年別年間カリキュラムの作成



成果: 全国学調(生徒質問紙)より
◎「自分にはよいところがある」82.5%

- 日常生活を心の醸成に生かす
- ・給食指導 清掃指導 安全指導
- ・朝読書の時間

(2) 今の自分を見つめ直し、一步踏み出
す心の育成

- 学年内や異学年との交流活動を強化
する
- ・誇りと憧れを生み出す学年縦割り活動
清掃 あいさつ当番 給食 合唱練習
年度当初の交流活動
- ・クラス替えを見据えた学年体制の取組
- ・多様な人と出会う機会を多く設ける
学級外、異学年、学校、地域

- 集団の質の向上を願うリーダーを育成
する



課題: 全国学調(生徒質問紙)より
▼「将来の夢や目標を持っている」56.1%
▼(上記質問で「当てはまらない」20.9%
※20.9%は、県より8.2%多い。

重点目標2

学びの広がりや深まりを自覚でき
る授業の工夫

具体的な取組

(1) 生徒同士が多様な考えに触れ、
思わず語り合いたくなる授業実践

- 三つの力がはたらく授業をつくる
- ・友に訊く(きく=わからないことを尋ねる)力
- ・自分の気持ちを伝える力
- ・傾聴する(自分の考え
と対比しながら友の
考えに耳を傾ける)力



- 問いのある授業

- ・解決したいものの明確化
- ・深まりに気付く話し合いの工夫
- ・学びを振り返る場の工夫

課題: 学校自己評価(生徒評価)より
▼学習への取り組み方
課題: 学校自己評価(保護者評価)より
▼授業の受け方の指導 ▼授業の質の向上

- 指導と評価の一体化

- ・成果を共感し、次の意欲へつなげる
- ・Cの評価に対する支援の強化
- ・相互の評価の場面をつくり自分の主
張だけでなく人の考えを深く聞く。

(2) ICTを効果的に活用した学びの実践

- いつでも文房具のように

- ・クラウドの活用
- ・友の考えにふれられる。
- ・困ったときに、見れる、聞ける



- 誰一人置き去りにしない学びの保障

- ・オンライン授業の確立
- ・同時双方向による学びの保障
(相談室・自宅)
- ・学び直しタイム(仮称)の創出

課題: 学校自己評価(保護者評価)より
▼中間教室や不登校支援
▼オンライン授業による学習保障

重点目標3

よりよい学校生活のために、友と共に
高みを目指して行動する力の育成

具体的な取組

(1) 学級活動、学年活動、生徒会活動の
さらなる充実

- 一人一人が活躍できる場を
創出する
- ・小さな積み重ねを認め合い、
自己有用感につなげる
- ・職員主導から生徒主体の
活動へ



課題: 学校自己評価(生徒評価)より
▼生徒会への積極性
課題: 学校自己評価(保護者評価)より
▼生徒会活動の日常活動の強化

- 明倫の柱を価値付ける

- ・あいさつ 清掃 靴ぞろえ 合唱
- ・学校行事(各学年宿泊行事他)での実践
- ・学級活動(朝学活・帰りの学活)での実践

- 端末利用について、生徒と共に情報
リテラシーを高める。

- ・生徒会によるルール作り(学級長)

(2) キャリア教育の系統立てた実践

- 地域を知り、地域や人
の役に立つ自分を感じ
取る場の創出

- ・生徒会による地域貢献活
動の創出
通学路清掃 地区活動の充実
- ・二中フォーラムの生徒を主体とする実践



- 生き方に視点を当てたキャリア教育

- ・「働く」ことに対する問いの答えを追究
- ・キャリア・ウォークラリー 職場体験学習
- ・自己との対話→自分磨き→進路選択
- ・自分を見つめる進路学習

成果: 全国学調(生徒質問紙)より
◎「人の役に立つ人間になりたい」93.4%